

第8回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和5年8月4日(金)
開会14時51分 閉会15時51分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|------------|
| 教育長 | 鍵本 芳明 |
| 委員(教育長職務代理者) | 田野 美佐 |
| 委員(教育長職務代理者) | 梶谷 俊介 |
| 委員 | 松田 欣也 |
| 委員 | 上地 玲子 |
| 委員 | 服部 俊也 |
| 教育次長 | 國重 良樹 |
| 教育次長 | 田中 秀和 |
| 学校教育推進監 | 中村 正芳 |
| 教育政策課 | 課長 小林 伸明 |
| | 副課長 中江 岳 |
| | 総括主幹 石崎 貴史 |
| 教職員課 | 課長 鈴鹿 貴久 |
| 高校教育課 | 課長 鶴海 尚也 |
| 義務教育課 | 課長 苅田 直樹 |
| 特別支援教育課 | 課長 江草 大作 |
- 4 傍聴の状況 3名
- 5 附議事項
- (1) 令和5年度末校長・教員等人事異動要綱について
 - (2) 令和6年度使用教科用図書採択について
- 6 報告事項
- (1) 令和5年度全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要について
- 7 その他

8 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本件議題に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。附議事項（２）は教育行政の公正を確保する必要があるため、教育委員会会議規則第12条に基づき、非公開とする発議をする。

委員から議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。附議事項（２）は、非公開とすることに賛成の委員の挙手願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により本案件は非公開とすることに決した。

附議事項（１）令和5年度末校長・教員等人事異動要綱について

○教職員課長から資料により一括説明

(教育長)

これより採決に入る。議第7号において、原案について賛成の方の挙手を願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により、議第7号は原案のとおり決した。

報告事項（１）令和5年度全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要について

○義務教育課長から資料により一括説明

(委員)

全国学力調査の説明で学力の二極化が進んでいると聞いたが、学力に合わせた家庭学習を進めているという理解でよいか。

(義務教育課長)

市町村教育委員会の担当課長を集めた際や、学校訪問でも指導しているところである。

常に伝えているのは、学んでほしいターゲットはどこなのかということである。学校では家庭学習の見本として教室に自習学習ノート等の見本を掲示しているが、教員がいいと思った見本を真似させたいのは誰なのか。宿題で全員同じ問題を解かせているが本当にそれがいいのか。プラスしてどういう学習が必要なのか考えるよう伝えている。家庭学習が課題であるため、帰りの会等で家庭学習へつなぐ取組をしている学校もあるが、まだ十分ではないと考えている。

(委員)

ICT機器を活用して学力に応じた家庭学習が始まっていると思ってよいか。

(義務教育課長)

県は全ての学校へ同じ問題を国のシステムを通じて提供している。市町村教育委員会の担当課長にも実際にどんな問題か解かせてみて、活用できていない学校へは指導するよう伝えている。

市町村教育委員会が導入した端末を使用し、現在の学年の問題のみならず、他学年の問題にも当たれ、振り返りができる。

紙の宿題であれば、下学年の問題を解いていると友達が目気になることもあるが、ICT機器であれば、今、自分が下学年の復習をしていることを周りに知られずに行うことができ、効果的に学んでいるのではないかと思う。

実際に、中学の数学において小学校6年生の問題を解いている学校がある。

(委員)

全国学力テストで中学生の英語が、岡山県は全国より低く課題と思うが、中学生になってから分からなくなったとよく聞くが、その点についてどのような対策を打っていくか。

(義務教育課長)

「全国学力・学習状況調査 県全体の状況」をご覧いただけたらと思うが、「正答数相対度数分布図」において1問から4問の割合が全国より高い状況にある。次にP8の各設問の結果から見えることは、リスニングが課題である。理由は、英語と触れる機会が非常に少ないことが挙げられる。リスニングについては、デジタル教科書で英語に触れる機会はあるが、授業において教科書を繰り返し発音するだけになっており、授業が以前の形から変わっていない。もっと英語に触れる機会を増やさないといけない。

(委員)

瀬戸内市の結果が高いのはなにか理由があるのか。

(義務教育課長)

県義務教育課学力向上班にいたものが、瀬戸内市に赴任し、授業改善推進員となった。瀬戸内市の小学校・中学校の指導教諭を集めて、勉強会を実施した。現在の瀬戸内市教委の担当課長も元々チームの一員であったが、算数の学力向上をさせようと考えた。指導教諭が集まって教材研究したことを、各学校に持ち帰り、常に授業改善に心掛けている。ある教員は自分の授業を公開し、録画をしたものを市教委主催の放課後勉強会を実施するなど地道に努力をした結果ではないか考える。

(委員)

全国学力・学習状況調査の市町村別の状況の資料について、岡山市分はどのように取り扱っているのか。

(義務教育課長)

P1の概要にも書いているが、結果については、岡山市の値も含めた数値を公表している。岡山市の結果も情報共有をしているが、県が岡山市の分析はしていない。

(委員)

市町村別の結果が開示されていない市町村は、その自治体で学校が1校だけの場合か。

(義務教育課長)

そのとおりである。学校が特定されるため公表していない。

(委員)

一般的な公表基準は理解できるが、内部資料として各教育委員に非開示なのは如何なものか。

(義務教育課長)

次年度の際に検討させていただく。

国の公表資料では、政令市は政令市分として公表される。岡山県全体のデータとしては2種類があり、1つは政令市分を含んだデータ、もう1つは政令市分を除いたデータがあり、岡山県は政令市を含んだものを発表している。

(委員)

結果を見ると地区ごと地域ごとで格差・課題が浮き彫りになっている。学力の課題・地域の課題がよくわかるようにしてもらいたい。

(委員)

小学校でALTを活用した言語活動をしていると思うが、中学校の英語の調査結果をALTにも知ってもらって、小学校での英語活動を充実したものにしてもらいたい。先日、夢育イニシアチブ事業で高校生たちが英語でプレゼンテーション等をしていたが、とても厳しい状況に感じた。ネイティブの方が聞くと伝わらない。原稿は正しいものだろうが、発音等に問題があると感じた。質疑応答になると岡山大学の学生であっても喋れなくなってしまう。

理由は、言語活動が足りていないからだと思う。「岡山県学力・学習状況調査 県全体の状況」P13の【中学生1年 英語】では、「書くこと」が全国平均を下回っているが、P16の【中学生2年】では、改善されている。日本の教育では、「書くこと」は伸びるため、ALTへお願いすることはないと思う。話すこと・コミュニケーションはALTの得意とする分野だと思う。思春期になると流暢に話すことに羞恥心を感じるが、小学生であればそこまで羞恥心はないと思うので、「話すこと・聞くこと」をしっかりとってもらいたい。耳が慣れるとできるようになる。楽しくコミュニケーションをすることで耳が育つと感じる。

(義務教育課長)

夏休み期間中に各市町村・各地域でそれぞれ集まって分析などをするので、いま御指摘いただいたことをALTに伝えるよう行っていきたい。ただ、ALTをどう活用するのかが課題である。ALTをテープレコーダーのように使う教員も見受けられ、一番の課題だと思っている。学校ごと分析によると正答率が高い学校では、家庭で端末に録音をし、ALT等が聞き、採点し、フィードバックしている。良い取組を広めていきたい。昔のように三単現のSのつけ方など細かい英語を指導することで英語が嫌いになる生徒がいる一方で、正しい英語を話せているか教師やALTが教えてくれなから不安で話せない子が、正しい英語が話せているか見てあげることで成績が格段に伸びることもあり、トータルで考える必要がある。英語に関しては都道府県間格差があり、大都市部ほど成績が良い。

(委員)

東京に行けばコンビニの店員が英語で話しているなど、英語に触れる機会が多い。岡山ではそのような機会が少ないため、ALT等をしっかり活用してもらい、英語を教えるのではなく、英語で活動してもらいたい。私たちも日本語を覚えるときも正しくないかもしれないが話した。細かい部分を指摘するから喋れなくなる。先生の指導の問題もあるかもしれないが、小学生はそういった細かい部分は見ないという前提なので、ALTを活用し遊びの中で、英語を吸収してほしい。

附議事項（2）令和6年度使用教科用図書の採択について

○高校教育課長・義務教育課長・特別支援教育課長から資料により一括説明

(教育長)

これより採決に入る。議第8号において、原案について賛成の方の挙手を願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、議第8号は原案のとおり決した。

閉会